



水と人が奏でるハーモニーのまち

宝達志水町

議会だより

第64号

令和3年(2021年)

5月1日発行

石川県宝達志水町議会



志雄おはなしの会・ふきのとう

保育所や小学校などで、絵本や紙しばいの読み聞かせを行い、たくさんのお子どもたちに、おはなしの楽しさを届けます。

- 令和3年第1回定例会 2
- 議案に対する質疑 4
- 討論 6
- 「町政を問う」一般質問(4名) 7
- 常任委員会等審議 12

令和3年第1回

2月25日～3月5日

定例会



令和3年第1回町議会定例会が、2月25日から3月5日にかけて開催され、令和3年度当初予算関係の議案8件、令和2年度補正予算関係の議案7件、条例関係の議案6件、町道関係の議案1件、財産の取得関係の議案1件が可決されたほか、令和2年度補正予算関係の専決処分1件が承認されました。

また、監査委員の選任、選挙管理委員会委員及び補充員の選挙も行われ、新しい委員が決まりました。

令和3年度 当初予算の状況

会計名		予算額	前年度比
一	一般会計	77億9,500万円	▲3.2%
特別会計	国民健康保険	14億5,752万円	3.1%
	後期高齢者医療	2億358万円	0.6%
	介護保険	19億4,305万円	▲0.3%
	ケーブルテレビ事業	7,892万円	▲17.5%
企業会計	水道事業	5億2,888万円	0.8%
	下水道事業	15億4,667万円	2.1%
	病院事業	16億5,365万円	13.1%

◎人事関係

○監査委員の選任

山上 達郎氏 (河原)

○選挙管理委員会委員の選挙

山本 貴司氏 (北川尻)

小笠原邦和氏 (菅原)

清水 和義氏 (御館)

岡山 正美氏 (子浦)

○選挙管理委員会補充員の選挙

挙

第1順位

越野 義弘氏 (河原)

第2順位

金子 博昭氏 (敷浪)

第3順位

田村 淳一氏 (今浜)

第4順位

久保 幸庸氏 (所司原)

当初予算の主な内容

保育所整備事業

中央保育所の老朽化等に対応するため、大規模改修を行う。



3億8,174万円

道路整備事業

生活道路における道路環境の改善等を図るため、集落要望などに基づき実施していく。



3億9,700万円

体育施設整備事業

宝達志水サッカー場の駐車場整備、フェンス工事、ナイター照明のLED化などを実施する。



1億6,441万円

DMO事業費

地域の「稼ぐ力」を引き出すための体制を整備し、関連する取組を推進する。

(DMO設立支援業務の実施やほっぴーさんカード事業の充実など)



2,460万円

令和2年度 補正予算の状況

会計名		補正後の予算額	補正額
一	一般会計	101億5,342万円	8,933万円
特別会計	国民健康保険	14億6,774万円	2,825万円
	後期高齢者医療	2億893万円	▲249万円
	介護保険	18億4,305万円	▲1億1,874万円
	ケーブルテレビ事業	9,422万円	▲149万円

○補正予算の主な内容

・新型コロナウイルスワクチン接種

65歳以上の住民への新型コロナウイルスワクチン接種の準備及び接種費用。

・大雪、暴風雪等による雪害対応

1月上旬の大雪による原区の孤立化解消のため、緊急的に実施した倒木の伐採及び搬出に係る費用などのほか、暴風雪による雪害対応費用、除雪委託料の増額など。



議員別賛否の状況 (賛否が分かれた議案等のみ)

件名	結果	岩根 信水	勝二 正人	松浦 文治	林 稔	塚本 勇仁	土上 猛	柴田 捷	守田 幸則	北本 俊一	金田 之治	小島 昌治	北 信幸
議案第1号 令和3年度一般会計予算	可決	○	○	○	○	○	欠	-	×	○	×	×	×
議案第2号 令和3年度国民健康保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	欠	-	×	○	×	×	×
議案第3号 令和3年度後期高齢者医療特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	欠	-	×	○	×	×	×
議案第4号 令和3年度介護保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	欠	-	×	○	×	×	×
議案第5号 令和3年度ケーブルテレビ事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	欠	-	×	○	×	○	×
議案第6号 令和3年度水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	欠	-	×	○	×	×	○
議案第7号 令和3年度下水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	欠	-	×	○	×	×	○
議案第8号 令和3年度病院事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	欠	-	×	○	○	○	×
議案第15号 宝達志水町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	欠	-	○	○	○	×	○
議案第19号 宝達志水町浄化槽設置事業分担金徴収条例について	可決	○	○	○	○	○	欠	-	○	○	○	×	○
議案第22号 財産の取得について	可決	○	○	○	○	○	欠	-	○	○	○	×	○

○は賛成、×は反対、△は退場、欠は欠席を表しています。なお、議長は、議事進行を行うため賛否表明はしません。賛否同数の場合のみ「議長裁決」として表明します。(「裁」と記載)

議案に対する質疑



北 信幸 議員

質 北 議員

今議会の提案理由の令和3年度の当初予算において、保育所整備事業等に合併振興基金から3億円、財政調整基金からは2億2千万円を充てると説明された。以前には、宝達志水病院の横に新築移転をするという計画も出されたが、千年に一度の大雨を考慮してその計画を取りやめ、現在の場所で4億円をかけて実施するということが言われていた。浸水高の調査では、現在の中央保育所の方が浸水が

深くなることも述べられている。

この4年間で保育所の改修工事について、タウンミーティングあるいはアンケート等を保護者や地域の方々に行ったのか。

また、宝達志水病院の隣に新築移転した場合には、総予算や国、県からの助成金等は、どれぐらいになるか試算したのか。

答 寶達町長

現在の場所は、宝達志水病院の隣接地と比べると若干浸水が深くなっているが、志雄小学校が隣にあるので、すぐに避難できるように環境を整え、また、あらゆる人員を動員した中であれば十分可能であると考えている。建物自体の安全性、快適な保育環境を実現するために必要な事業として実施する。

答 一家健康福祉課長

大規模改修について、改めてアンケートは行っていない。また、大規模改修と新築の経費を比べると新築の方が高いと出ている。

質 北 議員

宝達志水病院よりも浸水高が深いのであれば、水害の心配がなく、保護者や地域の方が利用しやすい場所にすべきではないか。予算についても、財政調整基金を取り崩してすることは、簡単なことである。いかに町民が幸せになるかを考え、今後、試算していただきたい。

答 寶達町長

多くの方が慣れ親しんだ現在の場所で、周辺道路の良好な環境や予算をよく考えながら実施していきたい。



小島昌治 議員

質 小島議員

町財政の角度から令和3年度の当初予算案を質疑する。

町長は予算の提案理由説明で令和3年度は「非常に厳しい財政だ」と述べています。その通りで、例えば、(町) 税収入の減りもそうだが、昨年行った国勢調査により、3年前より町人口が千人も減っているため、国からの地方交付税交付金(1億円以上)減ることからも明らかです。しかし、「財政が厳しい」と言いながら、令和3年度予算には、借金もして1億6千万円かけてサッカー場を整備するという。また、別に作らなくてもいい

道路を4億円かけて作るとしている。この新しい道路を作らなくても少し迂回すれば大丈夫なのにわざわざ借金をして作るという。

また、町長の令和3年度の予算の提案理由説明で「新型コロナウイルスのための新しい生活様式を作る」とい

いながら、町独自の予算は11万8千円でマスクを購入し、配るという予算だけです。町長が提案理由説明

答 寶達町長

で言われていることと実際の令和3年度予算の自身は矛盾している。そう思いませんか。サッカー場と道路を言われていますが、サッカー場のフィールドそのものと照明のLED化など行いたいと思

るという目的で作るものです。

また、コロナ対策については6月に国の3次補正予算があるので、その時にしっかりとやっていきたいと思う。

質 小島議員

私はサッカーを通して子育てをしました。サッカーは好きなんです。しかし、この税収

が減って、貯金を2億円崩し、かつ、大きな借金をするほど財政が厳しい今、道路作りやサッカー場整備などは妥当でないのではないかと。提案理由説明と実際の予算付けは矛盾しているのではないかどうか一言でお答えを。

答 寶達町長

まあ、「財政が厳しい」とはいえ、矛盾してはいない。大変厳しいとはいえ、できないことをしているのではない。



金田之治 議員

質 金田議員

令和3年度当初予算の提案理由の中、主要事業として道路整備事業に3億9,700万円、体育施設事業費の

サッカー場整備に1億6,400万円、中央保育所整備に2億2,000万円等が提案された。この町は2町が合併した町で、町民融和が大切と叫ばれたこともあったにもかかわらず、志雄地区にこれほど目の届かない予算は初めてである。公園についても、古墳公園、白虎山公園は手入れが行き届かず枯れているような状態であり、道路整備には志雄地区はどこも予算化

されておらず、偏った予算となっている。

そんな中、押水地区のネクサスに児童遊戯施設を3億3,000万円をかけて作るという説明があった。均衡ある発展ということを言われていたが、町民融和をどうお考えか。

答 寶達町長

道路整備事業費の額は例年通りであり、志雄地区に何もないというのではない。白虎山公園等については、そういういった状態であることも認識しており、桜の伐採や間引きなどを実施している。児童遊戯施設の候補地については、志雄地区も含めた町内3か所あり、現在選定を行っている。

町内の融和は、重要なことであると認識しており、旧地区の融和を損ねることがないよう留意し事業を実施し

質 金田議員

町民融和を大切にすると説明があったが、実際には、押水地区の歩道工事や橋りよう架

替工事が出されている。志雄地区には見当たらず、住民は不信を感じている。それだけ大きな事業をするのであれば、両地区に目くばせすることが責務ではないか。

答 寶達町長

現在、工事している路線については、通路で改修が必要であることから実施している。今後、志雄地区については現在、国道159号線の羽昨道路を建設しており、二口から宿間の整備も早く事業化されるよう、国や関係機関に要望していきたい。

討論!

◎反対



金田之治 議員

私は、令和3年度一般会計予算について反対する。近く町長選挙が行われようとしている中で、この予算を見る限り暫定予算ならともかく、本格的予算という風に受け取っている。本予算で新規事業を交えてということであるのは、私は到底考えられない。道路予算については、8億近く、その他の公園施設等では3億近く、の大きな予算となっている。この町は、2町の合併町村であるのだから長たるものは両方

に目配せして、執行していくことが、当然かと思う。今は合併しておりあまり言いたくないが、この予算ほど押水地区に偏ったものはない。志雄地区には、道路関係では、看板すら立っていない。そんな中、押水地区には公園、そしてサッカー場の改修というようなものが出ています。これでは、志雄地区の住民は、到底受け入れることはできない。

片一方は大きく予算をつける、片一方は全くないと言っている。どの予算であり、こういう偏った予算には、到底承服できないと考え、私はこの予算案には、反対をする。



小島昌治 議員

私は本定例会に上程されました令和3年度の各予算案・条例改正案など22件の議案中、10件の議案に反対し討論します。

まず、町長は予算案の提案理由説明で、「財政調整基金から2億2千万円を取り崩した予算編成となり、非常に厳しい財政状況で行財政改革を行っていく」としています。私が教育厚生常任委員会で「厳しい財政なら急いで(借金して)サッカー場を整備しなくてもいいのではないか」と聞くと、町長は「財政はそれほど厳しくはない」と答弁されました。予算の提案理由説明と委

員会での答弁が正反対だという予算案です。

また、議会には常任委員会が2つありますが、私の所属していない総務常任委員会でも「サッカー場整備などの投資的整備を急ぐ必要がない」との意見が出されています。一方、急がなければならぬ樋川小学校近辺の「雨が降ったら子どもたちが水浸しになる」通学路の整備や南部保育所の「園児が散歩で利用するガタガタの歩道」の整備の予算が付けられています。

また、総額5億円という米出パイパス作りをやめるべきです。この道路作りには米出区の各家々を海の風を防いできた防風林をなくすことが条件となっています。防風林がなくなつた後の環境の変化の説明は議会にも住民

にもされていません。そもそも無駄な道路作りを税金でしているはずがありません。町は狭い米出区の道路を朝夕は利用しないで、迂回することのお願いを全町民にだすなど工夫を。それが厳しい財政の時の行政の在り方ではないでしょうか。「まず、借金して、5億円道路ありき」のやり方は正しくありません。

また今回、中央保育所の改築の費用が計上されていますが、「千年に一度の大雨」による1m20cmの大雨には改築では対応できません。改築では保育所の土台を上げることができなからです。場所を移転しての新築か、どうしても現在地にこだわるなら少なくとも1m20cmを超える土台の上に新築して幼児たちの安全を守る必要が

あります。

つまり、改築でなく新築です。町長はそのことを指摘されると「周りの大人が事前に子どもたちを退避させる行動をとることが大事」と言われますが、子どもたちの退避には様々な最悪の危機的な状況を想定して保育所を新築すべきです。(財源は)急ぐ必要のないサッカー場整備と無駄な米出パイパスへの予算があります。改修でなく新築で中央保育所の子どもの命を守るために使うことを強く求めます。

その他、令和3年度の高い保険税の国民健康保険会計予算案、高い保険料の介護保険会計予算案、合計して県内一番に利用料金が高い上下水道会計予算案などに反対し、討論とします。

町政を問う

議員4人が一般質問

一般質問とは、議員が町政全般にわたって、町長などの執行機関に対して事務の執行状況や将来の方針などについて質問し、説明・報告を求めるものです。

ページ

■松浦議員 8

- ・国道等の道路のバリアフリー化の推進を
- ・大雪による今後の避難方針は

■岩根議員 9

- ・集落孤立時のマニュアルを！

■小島議員 10

- ・国民健康保険の傷病見舞金の創設を
- ・「後期高齢者の2割負担の阻止」を(その他の質問)
- ・新型コロナウイルスの無症状感染者の早期発見と保護について
- ・上下水道料金の引き下げについて
- ・災害対策について(大雪による集落の孤立化解消のために)

■林 議員 11

- ・町の子育て支援と子育てサポートをどのように考える
- ・住宅地の造成と住宅建設の実績は(その他の質問)
- ・宝達志水町で働く母親の子どものこども園入所について

◎賛成



北本俊一 議員

議案第1号、一般会計予算について賛成討論を行う。
米出バイパスについて、先を考え、これらの町の将来のために

道路整備は、必要そのものである。米出バイパスの建設の是非については、最初に始まったのは、平成27年に米出区から全戸数の連名で町へ要望が出された。それを受けて、現在、調査、用地買収などが進んでいる。現状、1日、数百台車が通り、すれ違いもできず、ある家ではブロックに年々何回かぶつけられて

おり、それを自己負担で毎年直しているところもある。そういうこともあり、今、財政は、逼迫しているかもしれないが、将来のために実施すべき道路だと思

う。
そして、サッカー場の改築工事に1億6千万円かかると言っているが、これまで、毎年スポーツ施設を順番に予算をかけて改修して

いる。志雄地区の野球場フェンスも改修し、体育館のテニスコートも、5年ほど前に大きな予算で改修した。サッカー場の今の現状は、フェンスの高さが低くボールを蹴ったら国道へ出てしまい、非常に危ない状況である。ナイターもぼろぼろでLEDに替えるものである。

宝達志水町はスポーツ推進の町である。将来の子どもたちのためにオリンピック選手が一人でも多く出る町に、そして、スポーツを通じていろんな施設の充実を図り、スポーツの盛んな町、学力向上の町、そんな良い町を作るために、必要だと考えている。
先ほどDMOの話もあったが、交流人口、町の発展などいかにこ

れからの町を良い町に目指すのか、そのためのDMOだと思っている。何もしないで、よくなるわけがない。一般の企業にしても先を見据えた投資を行い、町も、一緒である。いろんなものに投資をする。それが、将来のまちづくりに繋がると思っている。



松浦 文治 議員

国道等の道路の バリアフリー化の推進を

関係機関と協議し、要望を行っていく

問 松浦議員

本町では、国道などの他管理道路において、道路のバリアフリー化が進んでいない所が多く見られ、隣のかほく市を通る国道は道路整備も進んでいるが、本町の国道249号に進むと道路環境が急に変わると感じる。これから高齢者が運転免許を返納し、移動の足としてシニアカーの活用が多くなると予想され、道路のバリアフリー化の整備を進める必要がある。

本町として、道路を管理している土木事務所にどのような要望を

出されているのか。

また、今後、まだ歩道の整備がなされていない国道での歩行者やシニアカー利用者等の交通事故防止方策をどのようにされるのか。

答 寶達町長

国道の整備要望については、路面等の修復等について、必要に応じて随時要望している。交通安全対策については、看板設置などの有効性を関係機関と協議し、事故防止に努めていきたい。また、歩道の新設や拡幅する場合には、国や県、地元と協議した上で、要望を行っていく。

大雪による今後の避難方針は

情報提供や注意喚起、
早期避難の呼びかけに取り組む



▲倒木によりふさがれた道路

問 松浦議員

今年1月の大雪の影響により、本町の山間部にある原地区が孤立状態となった。原住民の半数以上が避難しなかったが、避難方法が事前決めていなかったのか。今後の避難方針はどうするのか。

また、山間部の道路沿いには放置された林も多くあり、倒木により道路をふさぐことが予測されるものについて、所有者や電力会社に伐採依頼等されているのか。今後、木の所有者にどのような指導をされるのか。

答 寶達町長

事前の避難に関する取決めについては、町の地域防災計画により、避難所の開設準備を実施した。今後の避難計画については、今回の対応について評価を行い、危険が想定される場合には、町民や各区分長に対して情報提供や注意喚起、早期避難の呼びかけ等に取り組む。

倒木の伐採依頼については、電力会社においては電線に木の枝等が掛かり危険と判断した際には事前の対応がされている。所有者が明確に分かる箇所については、適正な維持管理を要請しているが、実施に至るケースがほぼないのが現状である。

一般質問 「町政を問う」 (町政全般にわたる質問)



岩根 信水 議員

集落孤立時のマニュアルを！
具体的なマニュアルの整備を行う

問 岩根議員
1月中旬の大雪によって本町原地区、見砂地区及び清水原地区の孤立状態が発生した件について質問する。それぞれの地区において大雪の影響により倒木や電柱の倒壊が発生し、道路の寸断、長期間の停電、井戸水を汲み上げるポンプの停止による断水、電話・

インターネット回線の断線による通信の途絶等、住民の生活に大きな被害をもたらした。特に通信手段を喪失し、現状の第一報すらできなかった原地区住民の不安は計り知れない。そのような状況の中で町は町職員に無線機を携帯させて各地区へ雪の中を徒歩で移動し、集落の一軒一軒の安否確認を行ったことは賞賛すべき適切な対応であったと思う。本対応の躊躇や遅れがあれば、人命に関わることも十分に考えられた。そこで、同様の事案が発生したときに備えるため本件の経験を活かし地域住民や現地に赴いた職員の意見等を集約して集落孤立時のマニュアルを作成すべきであると思うが、どうか。



▲大雪により倒木や電柱の倒壊が発生

答 寶達町長
1月の豪雪に伴う孤立集落の発生等に際しては、多数の関係機関や企業と連携して対応を実施した。これらの対応については過去に経験が無かったこともあり、現在は詳細なマニュアルが無く、災害につながる事象の発生が予測された時点、また発生後に随時検討し、対応を実施した。しかしながら、危険が迫る中で、安全を確保するためには、

正確な状況の分析や適時適切な判断と行動をすること、そしてそのための事前の取り決めや準備が重要と考えている。

また、防災無線は親機設備と各地域に設置されている拡声器に付随している屋外拡声子局設備は通話できるタイプなのか。

また、岩根議員からそれぞれの家庭において、大変厳しい寒さをなんとかしのいでおられたと伺った。住民の安全を守るために必要な対応として実施すべき職員の召集や関係機関への協力要請、物資の調達・供給、現場での対応、避難に関すること等について、今回の対応を踏まえて、初動対応から復旧対応までの具体的なマニュアルの整備を行いたいと考えている。

答 宮本室長
現在、町が所有している防災行政無線については、無停電電源装置を装備している。親機と子機、本町と集落との間の関係であるが、通話は可能である。

問 岩根議員
今回のように通信が途絶する場合、防災無線が無線機として使えるということを周知していただきたい。

答 岩根議員
本町の防災無線は商用電源が切れても、無停電電源装置等で稼働するものか。

答 宮本室長
ご指摘の通り進める。



小島 昌治 議員

国民健康保険の傷病見舞金の創設を

今後はよく考えていきたい

問 小島議員

前議会で、国民健康保険の加入者が新型コロナなどにより罹患して仕事を休んだ場合、傷病手当が支給される制度を作った。しかし、この制度では国民健康保険加入者であっても、一人親方の方は利用することができない。そのため、他市町では国民健康保険のすべての加入者が利用できる傷病見舞金制度を作っている。そもそも、国民健康保険以外の健康保険ではすべての加入者が傷病手当や見舞金の対象者である。(国民健康保険に入っている一人親方だけがコロナ

に罹患して休んでも傷病手当や見舞金を受け取ることができない)

町の国民健康保険制度への私の提案ですが、国民健康保険の傷病見舞金制度を作ることについて検討すべきだと思いますがいかがですか。

答 寶達町長

ご指摘されていることは把握しています。今後よく考えていきたい。



「後期高齢者の2割負担の阻止」を

若い世代への負担軽減としてご理解を



▲高齢者の体操教室

問 小島議員

後期高齢者医療制度で、一定の所得がある方は医療費の負担が1割から2割へと倍になります。町民の方々からの声を紹介します。「介護が必要な夫と暮らして」いて、ご自身も治療のために通院されている後期高齢者の方からは「今でも食費や衣服の購入を控えている。医療費が倍になれば、何を削ればいいのか」と。又、間もなく後期高齢者になられる方は、「介護保険料を納めるために通院を減らした。75歳になると医療費が1割になるのが楽しみだったのに。これでは介護サービスを控えないといけない」と。高齢者いじめのひどい話です。総務省が出している調査資料では、高齢者世帯の月収入平均

が20万円で、支出が26万円です。貯金を利用して赤字で家計をやりくりしている。医療費が2倍になれば一人2万6千円の医療費負担が増えることも明らかです。政府はすべてわかってやっている。それを正当化するため「現役世代の負担軽減のために高齢者は我慢してくれ」といっています。医療費が倍になれば、負担軽減になるのかを計算すると現役世代の労働者一人当たり年700万円です。高齢者を苦しみ自分たちが700万円の負担軽減なんて現役世代は望んでいません。町長として政府に働きかけるなどして医療費の2倍化阻止のために尽力を。

答 寶達町長

若い世代への負担軽減としてご理解を。

一般質問 「町政を問う」 (町政全般にわたる質問)



林 稔 議員

町の子育て支援と子育てサポートをどのように考える

総合的な子育て支援の充実に努める

林 議員
宝達志水町の子育て支援とサポートは、親にとって大切です。現在までにどれだけの利用があつて今後どのように進めていくか。

答 寶達町長
相見保育所と南部保育所にある「子育て支援センター」ですが、利用者は、平成30年度は3,875人、令和元年度は2,624人、

令和2年度はコロナウイルスの影響で休所期間等があつたことから、利用者は大幅に減少し、令和3年1月末で340人でした。

まず、「子育て世代包括支援センター」は、令和2年4月に健康づくり推進室内に設置しました。

母子手帳の交付者全員に対して、センター内で保健師による相談や個別指導を実施し、支援を行っています。

そして、8月より妊娠から子育てまでをフルサポートする「宝つ子すくすくアプリ」を立ち上げました。2月19日現在の登録者は55件であり、今後も普及に努めたいと思います。来年度からの取り組みですが、産後の母親のデイケア、ショートステイ及び母親だけでなく、父親も参加しやすい子育て支援も行っていく予定です。

住宅地の造成と住宅建設の実績は

町有地の活用も積極的に図りながら、

住宅用地の整備を進めたい

林 議員

町の助成を受けて、今までに住宅建築の実績は、どれだけあります。今、増えている空き家、空き地の宅地利用について、また、宅地造成について、どのように進めていきま

答 寶達町長

マイホーム取得奨励金の助成制度を受けての住宅建設の件数は、約16年間で、新築住宅191件、中古住宅41件、建売住宅1件、合計233件となっております。また、増加している

空き家においては、居住していない物件のうち、良好な管理状態にあるものを町が所有者から申込みを受け、空き家の利用を希望する者に紹介する空き家バンク制度により、再利用を促進しております。

現在は、町では、30歳代の子育て世代をターゲットとし、住宅団地の適地調査を行い、町有地の活用も積極的に図りながら、住宅用地の整備を進めていきたい。

今後は、更なる空き家の解消に向けて、先進地の事例を参考にしながら、不動産に関する



会期中の
常任委員会等審議

病院運営特別委員会

(2月26日)

問 令和3年度の外来収益見込みは1日1人あたり7,000円程度だと思われるが、令和元年度決算と比較すると上がっているようだが、その理由は。

答 当院は、他の病院に比べ検査が少ないため、何年も採血検査等を行っていない人がいれば、検査を推奨している。

問 新型コロナウイルス専用病床の専従看護師に、PCR検査を定期的に実施する必要があるのではないか。

答 現状では定期的にPCR検査を実施していく状況ではないと考えている。病院周辺に感染者が増え

日常の外来業務の中で、そういった患者に接する機会が増えてきた場合には、ありえないことではない。

問 患者の通院手段を調査したことはあるのか。通院手段を確保できれば、患者は増えるのではないか。

答 当院では高齢者の患者が多く、通院手段を家族の送迎やデマンドタクシーを利用して多くいる人が多い。今後の検討課題である。

問 売店設置の進捗状況は。

答 売店があった場所は現在、コロナ禍により発熱外来に使っている。売店を諦めたわけではなく、コロナ禍が収束したときには、売店を再開したいと考えている。

教育厚生常任委員会

(3月1日)

問 中央保育所大規模改修で、60cm上げるとのことだが、なぜ60cmなのか。県の資料では、千年に一度の洪水で120cm浸水するとなっている。60cmの根拠は。

答 現在の中央保育所は、病院近くの場所から見ると1m程高くなっている。60cmの根拠は特にないが、現在の建物に合わせた計画になっている。十分でないと思われるので、避難計画を詳細に作り対応していく。

問 中央保育所の改築部分を60cm上げると、他の部分はどうなるのか。道路からみて玄関に入るまでの間を60cm上げるといいうことが。

答 改築棟は現在も地面から高い状態になっている。

かき上げを行うのは駐車場部分で、道路側から玄関に向けて行うこととなっている。

問 千年に一度の雨が降ったときに備えるため、保育所を他に移すか土盛りして近所の方もいざというときに対応できるように、1億円のサッカー場よりもここに使うべきではないか。

答 保育所の改修については、いろんな対応を含め安全・安心な方法を考えて実施していきたい。



▲大規模改修される中央保育所

問 宝の縁結び事業について、ポイントカード加盟店のみが使える商品券を利用するのはなぜか。商工会の会員事業所で使えるような商品券を使用すべきではないか。

答 今後、検討する。

問 敬老事業で特産品を配付することだが、中身は何か。役立つものであるのか。

答 コロナ禍もあり敬老会の見直しを行った。高齢者の見守りかねて、町内の日持ちする菓子を配付することを考えている。

問 中止された宝浪漫マラソンの420万円の支出内容は。

答 大会準備が4月から取りかかっており、6月終わりに中止が決定した。その間にポスター作成、旅行代理店の募集等の経費、その他、宝浪漫マラソン

フリーラン2020では、参加者へのほっぴーさんカードのポイント1,000円分と看板の作成経費がかかっている。



▲フリーランの案内看板

各集落から7件の要望があり、現地確認を行い危険度や安全性を勘案し、5箇所を計上している。緊急性を要する箇所については、できるだけ早急に対応していきたい。

総務産業建設常任委員会

(3月3日)

フリーラン2020では、参加者へのほっぴーさんカードのポイント1,000円分と看板の作成経費がかかっている。

各集落から7件の要望があり、現地確認を行い危険度や安全性を勘案し、5箇所を計上している。緊急性を要する箇所については、できるだけ早急に対応していきたい。

宝達志水関東ふるさと会や仮称・宝達志水関西ふるさと会に補助金を交付する予定になっているが、これらの団体に所属する者から補助金に見合うだけのふるさと納税はされているのか。

宝達志水関東ふるさと会の会員からは、たくさんふるさと納税を受けている。今後、まちづくりを進めていくにあたり、交流人口や関係人口の増加につなげるため、ふるさと会への支援を続けていきたいと考えている。

宝達志水関東ふるさと会の会員からは、たくさんふるさと納税を受けている。今後、まちづくりを進めていくにあたり、交流人口や関係人口の増加につなげるため、ふるさと会への支援を続けていきたいと考えている。

温泉施設運営費に高額な修繕費が予算計上されているが、指定管理者は施設の維持管理を適正に行っているのか。適正に行っていないのであれば、指定管理料を減額すべきではないか。

指定管理の範囲外の経費も町が負担しているのではないか。

①経年劣化等に係る修繕費は毎年必要となり、リスク分担表で10万円以上は町、10万円未満は指定管理者が費用負担すると定められている。町としては、指定管理者に適切に管理するよう指導している。

道路整備には、社会資本整備交付金による補助金を充てられている。また、毎年提出される集落要望に基づき優先順位をつけ、予算要求し事業を進めている。

道路整備には、社会資本整備交付金による補助金を充てられている。また、毎年提出される集落要望に基づき優先順位をつけ、予算要求し事業を進めている。

各集落から多くの要望があるため、全てを行うことは難しいが、前向きに検討していきたい。

ふるさと納税事業の委託料には、寄付額を増やすためのコンサルティング料は含まれているのか。含まれていない。町職員が寄付状況等を見ながら直営で進めている。委託料の内容は、寄付受付サイトの運営費、返礼品代、返礼品送料等である。

令和3年度当初予算において、道路橋りょう費に多額の費用が計上されて



▲歩道の危険箇所

「表紙の写真は」

議会広報「宝達志水町を裏で支える人達」の第2弾は「志雄おはなしの会・ふきのとう」の皆さんです。

会の責任者である北山春江さんは、志雄町の保育士退職後の平成12年、現在の会員8人と共に図書館主催の高松あすなろ文庫の細川律子さんが講師の「子どもの本の講座」を受講しました。この事が、この会結成のきっかけとなりました。

活動は旧志雄地域の2つの小学校、2つの保育所と相見・北大海第一保育所での絵本を通しての「おはなし会」、ちどり園での「おはなし会」、年1回行われている岡部家での「昔がたりの会」などですが、その他にも、町の文化祭では活動費の足しにと図書館前でバザーも行っています。

おはなし会の活動を通して、低学年の子どもたちからは、「くりがあおむしをたべ

るおはなしがおもしろかったです。つぎのおはなしがたのしみです」や、6年生からは「知らない物語を知ることができた」、「お話を聞いていろいろなことが想像できて楽しかった」、「お話を聞いて本に興味を持ちました」などの感想が聞かれました。

子どもたちの感想文からはおはなし会を通して、相手の喜びや痛みを感じるなどの社会生活で大事な「想像力」が育っていることを感じます。宝達志水町で育った「想像力豊かな子どもたち」が社会に出ていくためにも、この21年間にもわたる地道な活動への更なる理解が求められますね。

(インタビュー) 小島昌治

令和3年 第2回定例会本会議の日程

〔開会〕 6月10日(木) 午前10時 〔再開〕 6月18日(金) 午後2時

◎傍聴のご案内

- 受付 会議当日、午前8時30分から議会事務局（庁舎3階）で受付いたします。
- 手続 傍聴受付票にご自分の住所、氏名、年齢を記入し、傍聴券の交付を受け傍聴席へお入りください。

◎新型コロナウイルス感染防止のため、人数を制限するなど感染防止対策にご協力ください。

◎第2回定例会本会議より、議会の生中継をインターネット (YouTube) で見られますのでご覧ください。

●議会だよりへのご意見、ご感想がありましたら、電話、FAX、Eメールなどでお寄せください。

広報編集特別委員会

- 委員長 塚本 勇仁
- 副委員長 小島 昌治
- 委員 土上 猛
- 委員 林 稔

令和3年5月1日 発行

■発行 宝達志水町議会

責任者／議長 柴田 捷

〒929-1492 石川県羽咋郡宝達志水町子浦そ18-1

TEL(0767)29-8310 (直通) / FAX(0767)29-4623

E-mail gikai@town.hodatsushimizu.lg.jp

■編集責任者／塚本 勇仁



守田幸則 議員

守田幸則議員は公職選挙法第90条の規定により、令和3年3月16日付で失職されました。



この印刷物は、E3PAのゴールドプラス基準に適合した地球環境にやさしい印刷方法で作成されています
E3PA：環境保護印刷推進協議会

この広報は高精細340線で印刷したものです。